

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

但馬地域公共交通計画の評価等結果（2022年度）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
地域住民の公共交通の満足度 【2020年】 13.8% 【2026年】 14.4% 【2031年】 15.0%	以下の全ての取り組み	「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査	【達成状況】 ・ 11.3%（2022年度調査結果） 【分析】 ・ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛の影響で一部減便等を実施したことが影響したと考えられる。	・ 路線の再編やデマンド型交通の導入のみならず、低床化車両の導入やパーク＆ライド駐車場等のハード整備も含め、利用者の利便性を向上させ、満足度向上に繋げる。 ・ また、コロナ禍の緩和に伴う運行本数等のサービス回復により満足度も回復することが期待される。	・ 13.1%（2021年度調査結果）
路線バス・コミュニティバスの住民1人あたりの年間利用回数 【2019年度】 9.25回/年 【2026年度】 現状維持 【2031年度】 現状維持		市町、交通事業者 所有データ	【達成状況】 ・ 8.85回/年 【分析】 ・ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛の影響で利用者数が減少。	・ 2023年度は引き続き、公共交通利用者への助成事業や利用促進イベントの実施、セミナーやワークショップによる公共交通利用意識の醸成等を通して利用者数の増を図る。	
市町をまたぐ新たなバス路線数 【2021年】 - 【2026年】 2本 【2031年】 3本	基本施策1 地域路線の再編 基本施策2 地域の実情に合わせた交通手段の導入	計画策定以降に新たに運行する市町をまたぐバス運行の路線本数	【達成状況】 ・ なし（検討・調整段階）（2022年度）	・ 2021年度に実証運行を実施。 ・ 2023年度は引き続き、本格運行に向けて利用可能性の検討・関係者調整を行う。 ・ 蘇武トンネル線については、2024年の運行を目指している。	
公共交通空白地の割合（人口・面積） 【2015年】（人口）4%（面積）23% 【2026年】（人口）3%（面積）21% 【2031年】（人口）3%（面積）20%	基本施策3 新たな運営方法を用いた公共交通の導入	バス路線情報、国土数値情報	【達成状況】 ・ 変更なし（（人口）4%（面積）23%）（2022年度）	・ 2023年度は引き続き、自家用有償旅客運送に対する支援等により公共交通空白地の減少を図る。 ・ 福祉や教育分野等の他分野との連携による移動手段の確保に向けて検討を進める。	
路線バス・コミュニティバスのノンステップバス導入率（ワンステップバス等を含む導入率） 【2021年】 31%（80%） 【2026年】 36%（85%） 【2031年】 40%（90%）	基本施策4 公共交通を安全・安心に利用できる環境の整備 基本施策5 交通結節点における利便性の向上	市町、交通事業者 所有データ	【達成状況】 ・ 35%（83%）（2022年度末時点） 【分析】 ・ ノンステップバス、補助ステップ付きバスの導入を着実に進めており、このまま推移すれば目標値達成可能。	・ 引き続き、低床化車両の導入を進める。	
コミュニティバスの標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）の整備市町数 【2021年】 3市町 【2026年】 5市町 【2031年】 5市町	基本施策6 公共交通の利便性の向上	オープンデータとして公開している市町数	【達成状況】 ・ 5市町で整備されている（2022年度末時点） 【分析】 ・ 2022年度に全市町において、GTFS-JPを整備、公表した。目標達成済み。	・ 2023年度は引き続き、ダイヤ改正等にあわせてデータの更新を実施する。	
高速バス・長距離バスの路線数・運行本数 【2021年】 5路線 30本 【2026年】 5路線 30本 【2031年】 6路線 36本	基本施策7 広域的な公共交通ネットワークの充実 基本施策8 観光交通としての利便性向上	バス路線情報	【達成状況】 ・ 5路線 16本（2022年度末時点） 【分析】 ・ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛の影響で一部減便が発生。	・ 高規格道路の整備状況を考慮し、運行開始を検討する。 ・ 減便についてはコロナ禍からの利用者回復状況に応じて再開を検討。	

但馬地域公共交通計画の評価等結果（2022年度）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
高速バスストップの整備箇所数 【2021年】2箇所 【2026年】3箇所 【2031年】8箇所	基本施策7 広域的な公共交通ネットワークの充実 基本施策8 観光交通としての利便性向上 基本施策9 公共交通を担う人材の確保 基本施策10 公共交通の利用促進	バス路線情報	【達成状況】 ・変更なし（2箇所）（2022年度）	・高規格道路の整備に合わせて設置を検討中。 ・2023年度はバスストップ設置連絡協議会において、北近畿豊岡自動車道・山陰近畿自動車道における各ICのバスストップ設置検討箇所を固め、関係者間でオーソライズする。	
たじまわるの利用者数 【2019年度】8,499人/年 【2026年度】9,000人/年 【2031年度】9,500人/年		県所有データ	【達成状況】 ・10,710人/年（2022年度） 【分析】 ・2021年度までは、新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛の影響で利用者数が減少していたが、2022年度はコロナ禍からの利用者回復や兵庫デスティネーションキャンペーンのプレイベントに伴う特典を付与したことで利用者数が大きく増加した。	・2023年度は更なる利用者増のため、兵庫デスティネーションキャンペーンとのタイアップを実施。	・5,314人/年（2020年度） ・4,685人/年（2021年度）
各市町主要駅の乗降人数 【2019年】11,196人/日 【2026年】現状維持 【2031年】現状維持		国土数値情報	【達成状況】 ・8,566人/日（2021年度） 【分析】 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛の影響で利用者数が減少。	・二次交通対策として、駅前レンタサイクルを継続して実施。 ・2023年度は更なる利用者増のため、兵庫デスティネーションキャンペーンとのタイアップを実施。	・8,857人/日（2020年度）
路線バス・コミュニティバスの収支率 【2019年度】コミュニティバス：（豊岡市）18%（養父市）19%（朝来市）12%（香美町）12%（新温泉町）11% 路線バス：52% 【2026年度】コミュニティバス：（豊岡市）19%（養父市）20%（朝来市）13%（香美町）13%（新温泉町）12% 路線バス：55% 【2031年度】コミュニティバス：（豊岡市）20%（養父市）21%（朝来市）14%（香美町）14%（新温泉町）13% 路線バス：58%		市町、交通事業者 所有データ	【達成状況】 ・コミュニティバス：（豊岡市）15%（養父市）15%（朝来市）13%（香美町）8%（新温泉町）7% ・路線バス：38%（2022年度） 【分析】 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛の影響で利用者数が減少。	・2023年度は引き続き、公共交通利用者への助成事業や利用促進イベントの実施、セミナーやワークショップによる公共交通利用意識の醸成等を通して利用者数の増を図る。	
住民1人あたりの公共交通への公的資金投入額 【2019年度】4千円/人 【2026年度】現状維持 【2031年度】現状維持	市町、交通事業者 所有データ	【達成状況】 ・5.2千円/人（2022年度） 【分析】 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛の影響で利用者数が減少し、収支が悪化したため公的資金投入額は増加。	・2023年度は引き続き、公共交通利用者への助成事業や利用促進イベントの実施、セミナーやワークショップによる公共交通利用意識の醸成等を通して利用者数の増を図る。		

但馬地域公共交通計画の評価等結果（2022年度）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
<p>鉄道の区間別平均通過人員・乗車人員</p> <p>【2019年度】</p> <p>山陰本線（福知山～城崎温泉）3,268人/日</p> <p>山陰本線（城崎温泉～浜坂）693人/日</p> <p>山陰本線（浜坂～鳥取）921人/日</p> <p>播但線（和田山～寺前）1,222人/日</p> <p>宮津線（宮津～豊岡）2,265人/日</p> <p>【2026年度】 現状維持</p> <p>【2031年度】 現状維持</p>	<p>基本施策9 公共交通を担う人材の確保</p> <p>基本施策10 公共交通の利用促進</p>	<p>「データで見るJR西日本」、WILLER TRAINS 提供資料</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 山陰本線（福知山～城崎温泉）2,110人/日 山陰本線（城崎温泉～浜坂）606人/日 山陰本線（浜坂～鳥取）738人/日 播但線（和田山～寺前）924人/日（2021年度） 宮津線（宮津～豊岡）1958人/日（2022年度） <p>【分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛の影響で利用者数が減少。 	<ul style="list-style-type: none"> 2023年度は引き続き、公共交通利用者への助成事業や利用促進イベントの実施、セミナーやワークショップによる公共交通利用意識の醸成等を通して利用者数の増を図る。 また、兵庫デスティネーションキャンペーンにより更なる利用者増を目指す。 	
<p>但馬地域一体で実施する公共交通を担う人材確保に向けた活動数</p> <p>【2021年】 -</p> <p>【2026年】 1回/年</p> <p>【2031年】 1回/年</p>		<p>但馬地域一体で実施する運転士確保を目的としたのPR活動数</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2回/年（2022年度） <p>【分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動数は目標達成。 	<ul style="list-style-type: none"> 2022年度は全但バス(株)において人材確保に向けた説明会・体験会を2回実施。参加者計28名、採用が1名あった。 2023年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたため、さらに活動回数を増やす。 	